

グローバル人材育成プログラム に参加して

峰瀬 博生
Hiroki MINESE
電子情報学科 3年

1. はじめに

2017年8月17日から9月4日にかけてアメリカのカリフォルニア州ベイエリアにてグローバル人材育成プログラムに参加した。今回の研修の主な目的はインターンシップを通じてグローバル人材に必要なものは何か、世界で活躍できる人材になるために必要なスキル、意識などは何かといった事を学ぶことである。今回のプログラムの概要を表1に示す。

表1 プログラム概要

8/17 (木)	出国, シリコンバレーツアー
8/18 (金)	シリコンバレーツアー
8/19 (土)	キャリアセミナー
8/21 (月) ~8/25 (金)	インターンシップ
8/27 (日)	言論集会
8/28 (月) ~9/1 (金)	インターンシップ
9/4 (月)	帰国

2. 研修内容

2.1 参加目的

今回このプログラムに参加した目的は、インターンシップにより日本と海外での働き方の違いを学び、日本人と外国人の考え方や文化の違いをホームステイを通して学ぶ事である。また、現地で起業されている日本人の方々による講演を聞き、さらにディスカッションを行う事によって自己啓発を図る事も今回の目的の一つである。

2.2 シリコンバレーツアー

シリコンバレーツアーでは Google, Apple などの大手 IT 企業の訪問、見学とサンフランシスコの観光を行った。このツアーでは特に Google の社内見学が印象に残っている。社内はアミューズメントパークかのようにゲームセンターやジムなど気分転換できるスペースがたくさんあり様々なアイデアが湧いてきそうな環境であった。中にはランニングマシンで歩きながら仕事をしている人が居たりして、働き方が多様であると感じた。

2.3 キャリアセミナー

キャリアセミナーでは現地で活躍されている山田様、北村様、黒田様の講演会に参加した。特に印象に残った話は北村さんのアメリカでは売り上げの見込める自動車会社より将来性の高い Uber や Lyft などの配車サイトに多く投資しているといった話である。そういった見込みのある物や面白いアイデアに多く投資できる点が日本と違っていると感じた。さらに日本とアメリカの働き方の違いを実際に両方で働いた事のある方から聞く事ができたのはとても良かった。また、このキャリアセミナーでは講演者の方とディスカッションする機会があり、どうして日本ではなく海外で働こうと思ったのか、海外で働くためには何が必要であるのかなどのお話を伺った。そこで親身に相談に乗っていただき今の自分に足りないものや今後どう改善していくべきなのかをとっても深く考えさせられた。3人の方々の話を聞くことで今後の進路の視野が広がり、改めて将来について考え直す事ができた。今回のキャリアセミナーへの参加はとても貴重な経験となった。

2.4 ホームステイ

私がホームステイさせていただいた家庭はフィリピン系アメリカ人の方で両親と2人の息子さん達の4人家族であった。2人の息子さん達はすでに独立されていて家には居なかったが上の息子さんの誕生日の際に皆で集まる事ができ、楽しく話をする事が

できた。初めてのホームステイで上手くやっていたか不安であったがホストファミリーはとても優しい方々で休みの日にはドライブに連れて行っていただくなどおかげで充実した日々を送る事ができた。家族全員と仲良くさせていただき短い期間ではあったが私を家族の一員であるかのように接して頂き本当に嬉しかった。これまで日常的にあまり英語を使って来なかったがこの研修でホストファミリーとたくさん話す機会があったため積極的に英語を使う事ができるようになった。しかし、言いたい事が完璧に伝わらないもどかしさを感じたのでこれからはもっと英語の勉強が必要であると思った。

3. インターンシップ

私は日系企業である TOYO Corporation というカリフォルニア州のフリーモントにオフィスがある企業で実習をさせていただいた。主な事業内容は情報通信機器をはじめとする測定機器の製造、販売また薄膜などの材料の測定などである。この研修期間で私が主に行った事は Cape Networks という企業の Wi-Fi 管理システムの新機能を評価し、PowerPoint にまとめプレゼンテーションをするといった事である。まずこのシステムがどういったものであるのかを理解するのに数日かかってしまった。次にこのシステムのアップデート内容について議論している 1 時間程度の動画より新機能の内容と利点を聞き取りまとめた。この作業は会話がとても速く何回も視聴することでようやく理解する事ができた。次にプレゼンテーションに用いる PowerPoint の作成を行った。慣れない事で最初は大変であったがアドバイスをいただいた事で徐々に分かりやすいスライドを作

れるようになった。また作成した PowerPoint を使って英語で伝えるというのはとても難しく、練習を多く積まないといけないと感じた。この経験は日本に帰って大学で研究をするうえでも、社会に出て働くうえでも確実に活きると思う。次に今回の研修先である TOYO Corporation が販売している EMC という電磁波測定器を扱っている HCT America Inc. という企業に見学に行く機会をいただいた。そこではノイズ放射や静電気を発生させるなど様々な電磁環境下で意図した通りに製品が動作するかなどの評価を行っていた。電化製品を世に出すためには多くの安全試験を行い各国の規格・規制への適合が必要である事を知った。また測定を行っている方から詳しく説明を受ける事ができたので大学での専攻分野外の事もたくさん学ぶ事ができた。

4. おわりに

アメリカでの経験を通して「グローバル人材とは何か」、そして「世界で活躍するには何が必要なのか」について様々な人種が集まり、様々な言語が使われている環境で過ごす事で少し分かった気がする。それは自分の意見や考えをしっかりと持っていて他者を理解し受け入れる事ができる力ではないかと思う。日本では相手の気持ちを読み取って気遣ってくれる事が多いが海外では自分から何か積極的にアクションを起こさないと何も生まれない事を今回学んだ。日本では経験出来ない事を本当にたくさん学ぶ事ができ収穫の多い研修であった。

最後に快く受け入れてくださったホストファミリーをはじめ TOYO Corporation の皆様には心より御礼申し上げます。